

# 飼いやすくて美味しい新魚「富士の介」の開発

## 【特徴】

サケの仲間では養殖に適したニジマスと希少で美味しいとされるキングサーモンを交配した新たな養殖魚を開発した。

## 【活用が見込まれる分野】

内水面養殖業

## 【成果】

「三倍体魚等<sup>※</sup>の水産生物の利用要領(平成4年水産庁長官通達)」に基づく養殖利用:平成28年12月水産庁長官による確認

※三倍体魚等

染色体の倍数化等の技術(染色体数の操作のみで、遺伝子そのものは改変していないため、遺伝子組換えとは異なる)を用いて作られた魚

## 【内容】

### ニジマス×キングサーモン交配魚 (交配のねらい)

#### ニジマス

- ・ 養殖に適している
- ・ 美味しい
- ・ サケの仲間では認知度が高め
- ・ 大型になる (例: 甲斐サーモンレッド)

#### キングサーモン (マスノスケ)

- ・ サケの仲間では特に高級
- ・ 希少 (日本では実験レベルでしか養殖されていない)
- ・ サケの仲間では最大
- ・ 飼育が難しい



メス親: ニジマス



交配



オス親: キングサーモン

両者のいいところ取りの「飼いやすくて美味しい魚」を作り出すことがコンセプト



新たな養殖魚



- ・ 美味しい (上品で滑らかな触感)
- ・ 卵を持たない
- ・ 肉質が安定 (卵に栄養がいかない)
- ・ 自然界での繁殖防止

- 平成28年12月に水産庁から養殖利用の承認
- 平成29年11月から民間の養殖場で試験飼育開始
- 平成32年から流通開始予定